

事業所名		地域療育センターふれあいなかま				支援プログラム(放課後等デイサービス)				作成日		2025 年		4 月		1 日					
法人（事業所）理念		子ども達一人一人の個性をよく知り、それぞれが取り組むべき課題と必要な支援とは何かを考え、子ども達が持つ育つ力を引き出しながら、それぞれにふさわしい自立を目指した支援を行うための努力を行う																			
支援方針		子ども達が達成感を味わい、自信をつけ、自己肯定感を育むことができるような支援を行う																			
営業時間		月、水～金				14 時		00		分から		17 時		00		分まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容																			
本人支援	健康・生活	・ 定期的な利用、適度な刺激を受けながら心身の発達を促すことで生活リズムの安定を図る ・ 着脱、排泄、荷物の整理整頓(来退所準備、机上の片付け)等に取り組み、基本的な生活スキル習得や技術の向上を促す ・ 時計やタイマーを使用することで、時間を意識して行動できる力を育む																			
	運動・感覚	・ 大型遊具を使用した活動や鬼ごっこ、ボール等を使った活動を通した感覚面の統合や発達、姿勢保持にも必要な体幹の発達を促す ・ 手先を使った課題(例：パズル、型はめ、ペグさし、紐綱、制作等)を取り入れ、指先の力の向上を促す ・ 様々な感覚を味わいながら、感情や力のコントロールの向上を図る																			
	認知・行動	・ 一人一人の特性に応じた課題を組み込んだ活動や遊びを通して、様々な状況における経験を重ね、対処力の向上やこだわりの緩和に繋げていく ・ SSTの中で、“もしも” の場合を想定した学習を取り入れることで、実際の場面で対処法を考える力や周囲に助けを求める力を高めていく ・ スケジュールに沿った時間の感覚を育みながら、グループ活動や個別課題を通した概念形成や物事のルール等に触れていく																			
	言語コミュニケーション	・ それぞれの特性に応じたコミュニケーションの方法を検討・話し合いながら発信する力の向上を促す ・ 活動、帰りの会等の場面で、号令や発表等の経験を重ね、伝わる力を育む ・ SSTや実際のやりとりを通して、場面に応じた表現の仕方、言い方等について支援する																			
	人間関係社会性	・ 屋内、屋外(公園、買い物学習等)でのSSTを取り入れながら、場面に応じた伝え方、対応方法などについて座学や実践を通して経験を重ねていけるよう環境を設定していく																			
家族支援		・ 定期面談や連絡帳随時面談(電話も含む)を通した相談対応										移行支援		・ 学校等関係機関との情報共有、連携							
地域支援・地域連携		・ 送迎時(学校、学童等)の情報共有 ・ 担当者会議への出席 ・ 支援協議会や自立支援懇談会への出席等を通した情報共有・連携										職員の質の向上		・ 毎月ケース検討を実施 ・ 随時、職員研修を実施							
主な行事等																					